

# ひふみのあゆみ 2010年5月7日号

レオス・キャピタルワークス株式会社  
金融商品取引業者: 関東財務局長(金商)第1151号  
加入協会: 社団法人投資信託協会  
社団法人日本証券投資顧問業協会



## ひふみ投信 2010年4月度 ご報告書

レオス・キャピタルワークスよりお客様へ

お客さまの資産形成のパートナーに「ひふみ投信」をお選びいただき、誠にありがとうございます。  
運用責任者から皆さまへのメッセージならびに2010年4月の運用状況などをご報告いたします。

## 運用責任者からお客様へ

### ◆ 4月の投資環境(株式市場等での出来事)について

3月下旬に1年半ぶりに11,000円台を回復した日経平均株価は、4月5日に11,408.17円まで上昇して今年の高値を更新しました。しかし中旬以降は、海外要因で次第に売りが優勢となり、月末にかけて11,000円前後で推移し、月末の終値は3月末より0.29%安い11,057.40円でした。

ネガティブな海外要因の主なものには、以前から続いているギリシャなど財政問題を抱えた欧州諸国と、アメリカの証券取引委員会(SEC)が金融大手のゴールドマン・サックスを証券詐欺の容疑で追訴したことが挙げられます。ギリシャ問題については、EU(欧州連合)とIMF(国際通貨基金)による金融支援の表明が好感される反面、その後は支援する欧州各国の財政負担や問題解消への懸念、そして財政問題を抱えた国々の国債価格下げに伴う負の連鎖懸念が生じたりと方向感が定まらず、動向の一つ一つが株式・債券や為替相場に大きな影響を与えました。また、ゴールドマン・サックス提訴の件が発表された後は、日経平均株価が乱高下する場面がありました。金融機関への規制強化の流れが世界的に強まるという懸念から、買いの手が続きにくい相場となりました。

なお、一方でTOPIX(東証株価指数:東証一部上場全銘柄で構成)は3月末より0.84%上昇しています。上昇に貢献した業種(電機など)を見ると好決算企業が目立ち、こうした企業への海外投資家の物色意欲は根強く、4月に関しては日経平均株価よりもTOPIXが実体を表しているようにも見受けられました。

### ◆ 4月の「ひふみ投信」の運用について

4月初旬に大型株や輸出ハイテクの銘柄を中心に保有数量の一部を売却しました。保有株式の全てを売却せずに一部だけ売却をすることを「スライス」といいますが、今回小松製作所、三菱商事、デジタルガレージ等を「スライス」しました。この背景には、今年の3月から4月にかけて、世界的な株式市場の急騰にともない日本株も大幅に上昇し、相場に過熱感が高まっていると考えたことがあげられます。短期的には株式市場が下落する可能性の方が高いと考えて、ひふみ投信では総資産に対する株式の組入比率を3月末の80.21%から74.01%まで一時的に下げる戦略をとりました。同時に輸出ハイテク銘柄のウェイトを引き下げましたが、これは、短期的に株価が上昇したことに加え、ギリシャ問題や中国の人民元切り上げ観測により円高へ転じた際に株価が下落する可能性を懸念したからです。

なお、輸出ハイテク銘柄は長期的な視点で見るときにはまだまだ妙味のある銘柄だと考え、組入比率を減らしながらも継続して保有しています。

外需銘柄の組入れを調整する一方で、朝日印刷やJPホールディングなどニッチな分野で堅い成長が見込める内需銘柄のウェイトを引き上げました。また、ソフトバンクも内需成長株として組入を再度行ないました。

### ◆ 今後について

(運用や見直しについては、市場動向等の変化によって、変更することがあります)

このご報告を執筆している2010年5月7日には、NY市場が一時1万ドルを切るような大きな株価の下落に見舞われました。ギリシャを始めとする欧州の信用問題に端を発するユーロおよび欧州株式の下落に加えて、現段階では不確定ですが、誤発注がシステム障害とみられるトラブルに見舞われたことも原因ではないかと言われています。何にせよ、不確定要因がたらなり、日本の株式市場のベクトルは短期的には下向きつつあります。しかし、このような時期は、業績と比較して割安になっている株式に投資するチャンスだと考えています。ひふみ投信では総資産に対する株式の比率を抑えているので、割安な銘柄に投資をする買い余力が十分にあります。株式相場が変動するときは、今後の成長を見込める企業に投資をするチャンスとして戦略をたててまいります。

(ひふみ投信 運用責任者 藤野英人)

・本資料は、レオス・キャピタルワークス(以下「当社」といいます。)が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。

・本資料の作成にあたり、当社では情報の正確性等について細心の注意を払っておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。

・本資料に掲載されている市場見直し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。

・投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、投資判断はお客さまご自身で行なっていただきますようお願いいたします。

# ひふみ投信の基準価額について

2010年4月30日時点の基準価額

1万口当り **12,534円**

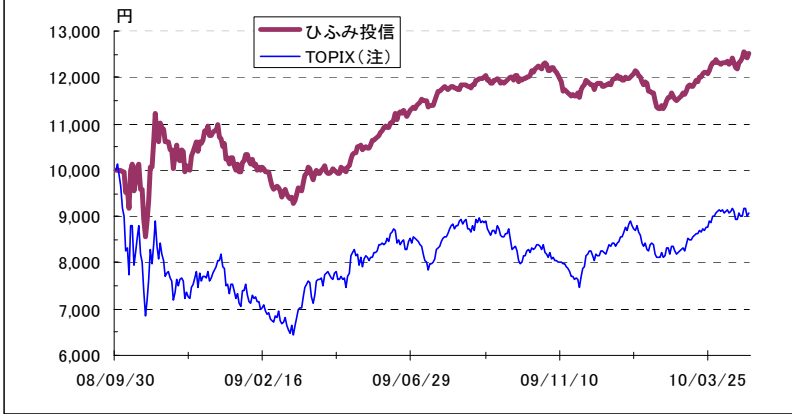
(基準価額とは「ひふみ投信」の値段の事です)

## ■ 運用成績について

基準価額のおゆみ [騰落率]		TOPIX騰落率
過去1カ月	1.68%	0.84%
過去3カ月	5.65%	9.53%
過去6カ月	3.09%	10.32%
過去1年	24.47%	17.81%
設定来	25.34%(※1)	-9.23%(※2)

※1 設定来の基準価額の騰落率は、当初募集価額(10,000円)から2010年4月30日までににおける数値です。  
 ※2 設定来のTOPIX騰落率は、当初設定日前日である2008年9月30日から2010年4月30日までににおける数値です。

## ■ 基準価額の推移



(注) TOPIXは、当初設定日前日である2008年9月30日の値(1087.41)を10,000として指数化しています。  
 ※基準価額は、信託報酬(年1.029%(税抜年0.980%))を控除した後の数値です。

支払い済分配金	
第1期(2009年9月30日)	0円
設定来合計	0円

ひふみ投信は分配金再投資専用の投資信託です。

TOPIX(東証株価指数)は当ファンドのベンチマーク(運用する際に目標とする基準)ではありませんが、参考として記載しています。  
 TOPIXとは・・・東京証券取引所第一部に上場されているすべての銘柄の時価総額(株数×1株当り時価)を指数化したものです。日本の株式市場全体の動きをあらわすともいえます。

# ひふみ投信の資産内容について (2010年4月30日時点)

## ■ 資産の内訳

純資産総額	5.18億円
うち 株式	74.01%
うち 預金その他	25.99%
受益権総口数 (※)	413,642,679口

国別の割合	
日本株式	100%
海外株式	0%

(※・・・「ひふみ投信」をお持ちのお客様の保有口数合計です)

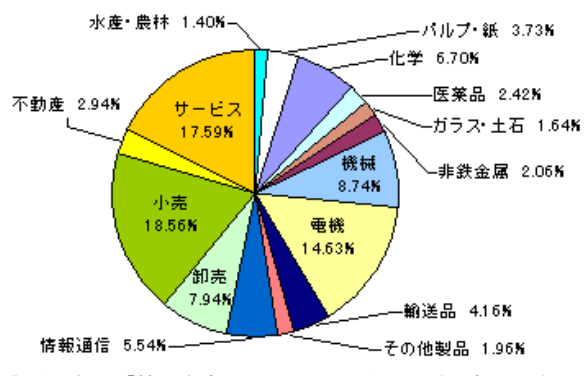
## ■ 組入比率の高い銘柄

(組入銘柄数:43銘柄)

銘柄コード	銘柄名	業種	比率
1	4755 楽天	サービス	3.52%
2	6967 新光電気工業	電機	3.24%
3	5949 ユニプレス	輸送品	3.08%
4	9984 ソフトバンク	情報通信	2.85%
5	3951 朝日印刷	パルプ・紙	2.76%
6	8113 ユニ・チャーム	化学	2.64%
7	6301 小松製作所	機械	2.57%
8	7522 ワタミ	小売	2.56%
9	4775 総合メディカル	小売	2.51%
10	6594 日本電産	電機	2.44%

★組入比率は、株式・預金その他を含めた「純資産総額」に対する割合です。

## ■ 組入銘柄の業種比率



(注)業種比率は、「株式資産」を100として、それに対する割合です。

・本資料は、レオス・キャピタルワークス(以下「当社」といいます。)が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。  
 ・本資料の作成にあたり、当社では情報の正確性等について細心の注意を払っておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。  
 ・本資料に掲載されている市場見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。  
 ・投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、投資判断はお客さまご自身で行なっていただきますようお願いいたします。

■ ご参考資料:『ひふみ投信』の組入全銘柄(2010年4月30日時点)

銘柄コード	銘柄名	比率	業種	市場	
1	4755	楽天	3.52%	サービス	JASDAQ
2	6967	新光電気工業	3.24%	電機	東京一部
3	5949	ユニプレス	3.08%	輸送品	東京一部
4	9984	ソフトバンク	2.85%	情報通信	東京一部
5	3951	朝日印刷	2.76%	パルプ・紙	東京一部
6	8113	ユニ・チャーム	2.64%	化学	東京一部
7	6301	小松製作所	2.57%	機械	東京一部
8	7522	ワタミ	2.56%	小売	東京一部
9	4775	総合メディカル	2.51%	小売	東京一部
10	6594	日本電産	2.44%	電機	大阪一部
11	2749	JPホールディングス	2.37%	サービス	JASDAQ
12	4973	日本高純度化学	2.31%	化学	東京一部
13	6513	オリジン電気	2.20%	電機	東京一部
14	8915	タクトホーム	2.17%	不動産	東京一部
15	8058	三菱商事	2.16%	卸売	東京一部
16	9793	ダイセキ	1.99%	サービス	東京一部
17	7581	サイゼリヤ	1.87%	小売	東京一部
18	6767	ミツミ電機	1.83%	電機	東京一部
19	2678	アスクル	1.77%	小売	東京一部
20	6474	不二越	1.65%	機械	東京一部
21	2127	日本M&Aセンター	1.58%	サービス	東京一部
22	5714	DOWAホールディングス	1.52%	非鉄金属	東京一部
23	2413	エムスリー	1.52%	サービス	東京一部

銘柄コード	銘柄名	比率	業種	市場	
24	4540	ツムラ	1.43%	医薬品	東京一部
25	9843	ニトリ	1.42%	小売	東京一部
26	9983	ファーストリテイリング	1.39%	小売	東京一部
27	3046	ジェイアイエヌ	1.37%	小売	ヘラクレス
28	7826	フルヤ金属	1.32%	その他製品	JASDAQ
29	2668	タビオ	1.28%	卸売	大阪一部
30	4819	デジタルガレージ	1.25%	情報通信	JASDAQ
31	5384	フジインコーポレーテッド	1.21%	ガラス・土石	東京一部
32	6146	ディスコ	1.16%	機械	東京一部
33	6941	山一電機	1.11%	電機	東京一部
34	4751	サイバーエージェント	1.11%	サービス	マザーズ
35	6246	井上金属工業	1.08%	機械	大阪一部
36	1378	雪国まいたけ	1.03%	水産・農林	東京一部
37	3360	シップヘルスケアホールディングス	0.96%	卸売	東京一部
38	4756	カルチュア・コンビニエンス・クラブ	0.94%	サービス	東京一部
39	8283	Paltac	0.92%	卸売	東京一部
40	3092	スタートウデイ	0.86%	小売	マザーズ
41	2766	日本風力開発	0.55%	卸売	マザーズ
42	4574	大幸薬品	0.36%	医薬品	東京一部
43	7956	ピジョン	0.14%	その他製品	東京一部

★組入比率は、株式・預金その他を含めた「純資産総額」に対する割合です。

## ひふみのまめちしき

新聞やテレビで目にした話題や投資信託について、コミュニケーション・センターが担当部門や関係者に教えてもらいながら学んだことをご紹介します。

### 「スマートグリッド」

ひふみ投信の組み入れ銘柄にも存在する「スマートグリッド関連銘柄」。「スマートグリッド」という言葉は、よく聞くものの、具体的な内容は確定したものではなく、また普段の暮らしのなかでは(特に日本は電力インフラが整っているので停電等のトラブルも少なく)実感がわきづらくありませんか?今回はこのスマートグリッドについて調べてみたいと思います。

「スマートグリッド」とは文字どおり「スマート(賢い)」、「グリッド(網目状)」を意味し具体的には「電力網」のことを言います。ITを使って、電力などの情報を双方向に受け取る仕組みの電力網ですが、オバマ政権が米国のグリーン・ニューディール政策の柱として打ち出したことから、一躍注目を浴びることとなりました。

現在の電力網といえば、火力や原子力で発電をして、その発電所から各家庭へと電力を供給しています。しかしながら、需要のピーク時を基準とした容量設定ではムダが多く、発電所からの供給する場所までの距離が長いと、例えば100作った電力が半分の50しか届かないこともあり、発電所との距離が離れば離れるほどロスが大きくなるのです。また、送電網自体が自然災害などに弱く、復旧に手間取るということもあります。そのため、送電の拠点を分散し、需要家と供給側との双方から電力のやりとりができる、「スマートな」送電網が望まれています。

また、太陽光発電や風力発電をはじめとする、再生可能エネルギーの導入目標達成に、スマートグリッドを構築する必要性は高くなっています。「家庭用太陽光発電」という言葉をテレビのCMなどで聞いたことがあると思いますが、これがスマートグリッドの一例です。必要な電気はそれぞれの家庭で自給自足で生成し、さらには余った電気を電力会社に売るということも可能です。



これらの新エネルギー導入の肝となるのが「スマートグリッド」。しかしながら、風力や太陽光などは、風まかせ、お天気まかせであり、安定供給という点では、まだまだこれからの市場です。ただ、電力インフラが整った日本では、安定供給というより、省エネなど「エコ」の観点でスマートグリッド市場が広がるのが予想されますので、今後の動きに注目していきたいです。

・本資料は、レオス・キャピタルワークス(以下「当社」といいます。)が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。

・本資料の作成にあたり、当社では情報の正確性等について細心の注意を払っておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。

・本資料に掲載されている市場見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。

・投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、投資判断はお客さまご自身で行なっていただきますようお願いいたします。

# 「ひふみ投信」のコミュニケーション(セミナー)のお知らせ

## ひふみサロン 「ゆたかな暮らし」について考える

①くつろぎのある生活 ② お金と向き合う(お金の活かし方) ③ これからの経済や社会を考える のいずれかのテーマに沿って「ゆたかな暮らし」についてのヒントを得るセミナーです。

毎回あらゆるジャンルの各界でご活躍のゲストをお呼びしてお話を伺います。このため、「ひふみサロン」ではひふみ投信の運用に関するご説明や質疑応答は特にいたしません。

◆5月 25日(火) 19:00 ~ 20:45 (受付開始 18:30)

「未来の日本を考える」

ゲスト: 参議院議員 田村耕太郎氏

## ひふみアカデミー ひふみ投信の運用について詳しく知る

月2回発行される運用レポート「ひふみのあゆみ」に沿って、運用担当者がどのような視点で経済・株式相場を考え、銘柄を選択しているかなどについてお話しいたします。ひふみ投信について、投資哲学や具体的な特徴・しくみについて詳しく知りたいお客様や、他の投資信託との違いが知りたいお客様向けのセミナーです。

◆5月11日(火) 19:00 ~ 20:30

ひふみサロン・アカデミーの開催場所 : レオス・キャピタルワークス セミナールーム

東京都千代田区丸の内1-11-1 パシフィックセンチュリープレイス丸の内27階  
JR東京駅 八重洲南口より徒歩3分 / 東京メトロ 銀座線「京橋駅」より徒歩7分

地図はこちら→ <http://www.rheos.jp/about/overview/access.html>

◆◆◆◆◆ お申込み方法 (下記の中からお選びください) ◆◆◆◆◆

- ・ ホームページ <http://www.rheos.jp/func/seminarIntro.jsp> からお申込みください。
- ・ お電話 コミュニケーション・センター(03-6266-0123)までご連絡ください。(平日9~17時)
- ・ E-mail [cc@rheos.jp](mailto:cc@rheos.jp) まで、①お名前 ②ご希望の日時 ③ご連絡先電話番号をご連絡ください。

## 出版のお知らせ

日本経済出版社より「運用のプロが教える 草食系投資」が発刊されました!

ひふみ投信の運用責任者である藤野英人が、コモンズ投信(株)会長の渋沢健氏・セゾン投信(株)代表取締役社長の中野晴啓氏とともに、“ゆっくりコソコソ資産を増やす”名付けて「草食系投資」をお伝えします。

詳細は→ [http://www.rheos.jp/statements/information\\_100422.html](http://www.rheos.jp/statements/information_100422.html)

発刊を記念して、全国でセミナーを開催します!

他の地域での開催も現在準備中です。詳細はホームページ等でご紹介してまいります。

【広島】5月30日(日) 13:00~16:00 会場:ひろしまNPOセンター 主催:広島ファイナンシャルプランニング(株)

詳細は→ [http://hiroshimaftp.co.jp/up\\_semi.html#3rd](http://hiroshimaftp.co.jp/up_semi.html#3rd) (主催者のホームページへリンクします)

・本資料は、レオス・キャピタルワークス(以下「当社」といいます。)が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。

・本資料の作成にあたり、当社では情報の正確性等について細心の注意を払っておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。

・本資料に掲載されている市場見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。

・投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、投資判断はお客さまご自身で行なっていただきますようお願いいたします。

◆「ひふみ投信」の概要について ※詳しくは投資信託説明書(目論見書)をご確認ください

商品分類	追加型投信／内外／株式	
当初設定日	平成20年10月1日	
信託期間	無期限	
決算	毎年9月30日(休業日の場合、翌営業日)	
収益の分配	決算時に収益分配方針に基づいて分配を行いません。	
お申込み	お申込単位	10,000円以上1円単位の金額指定でお申し込みください。 なお、収益分配金の再投資は、1円以上1円単位となります。
	お申込価額	ご購入のお申込受付日の翌営業日の基準価額となります。
	お申込受付日時	当社営業日の9時～15時までとなります。
途中換金	途中換金(解約)単位	1口以上または1円以上
	解約価額	「解約請求受付日」の翌営業日の基準価額となります。
	受付日時	当社営業日の15時までとなります。 解約のご請求は、お電話による受け付けのみとなります。
課税関係	収益分配時の普通分配金、一部解約時および償還時の差益に対して課税されます。 ※今後税法が改正された場合などには、課税関係が変更になる場合があります。	

◆「ひふみ投信」に係るリスクについて

「ひふみ投信」は、国内外の株式を組み入れるため、株価変動の影響を大きく受けます。一般に株式の価格は、個々の企業の活動や業績、国内および国外の経済・政治情勢などの影響を受け変動するため、株式の価格が下落した場合には基準価額は下落し、投資元本を割り込むことがあります(株価変動リスク)。外貨建資産を組み入れた場合、為替レートの変動の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。投資国・地域の政治・経済情勢や株式を発行している企業の業績、市場の需給等、さまざまな要因を反映して、「ひふみ投信」の基準価額が大きく変動するリスクがあります(為替変動リスクとカントリーリスク)。したがって、お客様(受益者)の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。その他には、流動性リスクや信用リスク等があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

◆お客様の負担となる費用について

◇お客様に直接ご負担いただく費用：ありません

申込手数料・換金(解約)手数料・信託財産留保額 は一切ありません。

なお、「振込購入」に際しての送金手数料はお客様負担となります。

◇お客様に間接的にご負担いただく費用：次のとおりです

信託報酬	信託財産の純資産総額に対して年1.029%(税抜年0.980%)
監査費用	信託財産の純資産総額に対して年0.00525%(税抜年0.005%)
その他の費用	組入価証券の売買の際に発生する売買委託手数料(それにかかる消費税) 先物取引・オプション取引等に要する費用、外貨建資産の保管等に要する費用 租税、信託事務の処理に要する諸費用および受託会社の立替えた立替金の利息など

※「その他の費用」については、運用状況等により変動するものであり事前に料率、上限額等を表示することができません。

～お問い合わせ先～

コミュニケーション・センター 電話： 03-6266-0123 (平日9時～17時) メール：[cc@rheos.jp](mailto:cc@rheos.jp)

・本資料は、レオス・キャピタルワークス(以下「当社」といいます。)が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。

・本資料の作成にあたり、当社では情報の正確性等について細心の注意を払っておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。

・本資料に掲載されている市場見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。

・投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行なっていただきますようお願いいたします。